

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	COCOきらめき			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 12月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 12月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	市外での児童受け入れ	受け入れ児童の幅を広げ、待機児童や満足に療育を受けられない児童の受け入れ。	広報活動を通して、事業所の認知を図る。
2	「学習」「運動」「SST」とそれぞれの専門性を高めるための定期的な学習会、提供サービスの質の向上に努めていること。 又、専門員（公認心理師等）による個別支援・訓練に特化できている。	事業所内学習会や県・市の主催する研修・講習に積極的に参加している。グループ内学習会を通して、事例検討会などを開き意見交換や情報共有に徹している。	区内の自立支援協議会に積極的に取り組んでいき、外部からの刺激や着目点の相違、スキルアップの為にサービス提供にも反映していきたい。 広報活動を通して、事業所の認知を図る。
3	グループ連携がとれている	グループ内での合同イベントや児童の併用利用を通して、十分な連携と情報共有ができている	強みを活かした活動のマンネリ化を防ぎ、常に活性化させていきたい。新しいものを生み出していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域団体やコミュニティでの交流や発信の機会	地域交流の場での不参加 民間企業として地域資源の活用ができていない	積極的に参加していくこと、地域交流への参加とコミュニケーションをよりとっていくこと
2			
3			

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	COCOきらめき
------	----------

公表日 2025年 1月 27日

利用児童数 40人 回収数 33枚

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32		1		・スペースは充分だと思ひます。天気が良い日は公園に連れて行つてくれます ・元気に走り回れる環境が整っているのがとても良い ・広くなりひのびと過ごせるようになったと思ひます ・移転後はより充分なスペースが確保されていると思ひます	今後も子どもたちが安心できるような環境整備と取り組みを考えていひながら支援して参ります。
	2	職員の配置数は適切であると思ひますか。	30	3			・資格を持った職員さんが揃つており安心できる ・最近2名増えて少し適切に近づいたのではと思ひます	職員配置数は国で定められた最低人員基準（定員10名：職員3人）は確保しています。職員増加に伴つて、専門性の高い支援を提供できるよう努めて参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になつていますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思ひますか。	27	5		1	・階段が少し急かなと思ひます ・なつています。あと持ち帰り忘れ防止などの構造化がされると有難いです	急な階段ですが、幅の広い通路となつてゐるため、必要に応じて職員配置をしてあります。持ち帰り防止策を検討して参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になつていますか。また、こども達の活動に合わせた空間となつていますか。	31	2			・公園にも連れて行つてもらえてひのびひ体を動かさせてゐる ・明るい雰囲気で整理整頓がなされています ・毎日しっかりと拭き掃除も行つていただいており、清潔だと思ひます	常に清潔であること、衛生管理には徹底して参ります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられてゐると思ひますか。	31	2			・年齢に合わせた内容、プログラムだと思ひます ・関わりが深いスタッフさんの専門性に対しては充分だと思ひます	より専門性を高くするため、従業員の指導を実施して参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合つてゐると思ひますか。	28	2		3	・公表している支援プログラムについていまいち把握できてゐません	「療育運動」「学習支援」「SST」になります。各部門での専門性を高めて参ります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思ひますか。	33				・こどもたちが飽きないように常に楽しいイベントを企画してくれてゐます ・モニタリングの話がしっかりと反映されていると思ひます	子どもファーストの価値観で、より楽しく長く継続ができる、将来の身になるための個別支援計画書に努めてあります。過去（経緯）～現在（現実的に）～未来（ビジョン）
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思ひますか。	30	2		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿つた支援が行われていると思ひますか。	29	4			・勉強に専門性のあるスタッフの方など強化して下さり助かります ・いつも帰りにスタッフさんが色々状況を教えてくれて安心して預けることができている	計画はあくまでも計画ですので、計画に記載のない事項でも気づき（発見）～周知～取り組み（改善）へと繋げられるように努めて参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思ひますか。	31	2			・いつも楽しいイベントをありがとうございます ・計画に沿つて支援して下さつてゐる ・とても沢山のイベントがあつて感謝しています ・週に何回か外遊びを実施しているのとても良い ・いつも楽しいイベント、作業などを考えていただいてゐると思ひます ・常に次はこんなことができるかな・できるようになると良いと考えていただいてゐます	継続して楽しんでいただけるイベント、身になるような取り組み等を考案しながら提供していきたいと思つてあります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	5		14	・夏休みに交流があつたのかなと思つてゐます ・事業所外へ出かける機会が多いのでとても良い ・以前は公園などで関わりがあつたかと思うが移転後は把握していない	現在はほとんど交流のない状態となつてあります。今後の課題として挙げられますので、改善内容として検討してゐます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	1			・分かりやすい説明がありました ・利用時にありました	いつでもお気軽に訪ねていただけるような関係性を築いていきたいです。又、定期的にお伝えをする機会を設けても良いのかなと感じます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32			1		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	1		4	・家族が参加できる研修会があったら嬉しいです ・今の所はない？と思う。昔スタッフさんよりきらめきカフェ時に1回あったかと。	今後の課題であります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	31	2			・些細な事で共有してもらえて有難いです ・しっかり伝えて下さっていると思う ・毎日の送迎時やLINEでのやりとりでできていると思う ・送迎の時にも伝えていただいています	引き続き、尽力して参ります
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	1			・モニタリング時に行われていると思います	いつでもお気軽に訪ねていただけるような関係性を築いていきたいです。又、定期的にお伝えをする機会を設けても良いのかなと感じます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	1		1	・スタッフの方、皆様明るくていい方たち ・これまでにいくつかの事業所を利用しましたが職員さんの対応、一番良いです ・いつも話をしっかり聞いていただけています	引き続き、尽力して参ります
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	28	3		2	・親子カフェなど楽しいです ・兄弟仲が悪いので交流の機会があったらいいなと思います ・きょうだい同士の交流は機会を作ることが難しいと感じる	きょうだい同士の交流の機会を設けることも今後の検討内容だと考えます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	2		1	・いつも相談にのってくれます ・その都度されていると思います	引き続き、尽力して参ります
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1			・連絡帳やLINEでやりとりできています ・送迎時リトムで伝達がされていると思います ・送迎時・リトム・LINEと複数あり助かります	引き続き、尽力して参ります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	31	1		1	・SNSで子どもの活動の様子やデイでどんなことをしているのか知れていいと思います ・イベント時は、帰宅前に写真を送ってもらえるのですぐ子どもと話ができます ・イベントの様子を自ら話すことが難しいためLINEの写真などで様子がよく分かり有難いです	引き続き、尽力して参ります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	3		1	・事故と防止については周知できていない	毎月避難訓練（事業所内）は規定で月に一度の実施が義務化されております。又、緊急時対応マニュアル・事故防止マニュアル等は職員間で周知徹底しており、保護者への周知・説明が不足しておりました。今後の課題とします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	1		3	・非常時急な階段を使用するのは危険だと思うが他から非難するの？	非常時は原則階段での脱出となりますが、場合により、非常梯子を2階窓から下げて降車することも想定しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	3		3	・具体的な安全に対する対策などどのようなことがあるのか知りたいです	保護者への周知・説明が不足しておりました。今後の課題とします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	3	1		・発生事例がないので ・今まで大きな事故やケガなどはありませんでした ・事故等はありませんが、何かあればいつも説明していただけています	引き続き、尽力して参ります。場合により、周知はさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32	1			・毎日のルーティンになっています。デイ休みの日はいつあるのか気にしているくらいです	引き続き、尽力して参ります
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	1			・いろんなイベントがあり、とっても楽しみにしています ・すぐく行くのを楽しみにしています ・毎日スタッフは誰がいるのか？本当に楽しみにしています ・とても楽しみにしているので用事があり休まなくてはいけない時に説明しても納得してもらえませんでした笑	引き続き、尽力して参ります
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	3			・はい！とても満足です ・とても満足しています ・満足している ・毎回とても楽しみにしています。この事業所に出会えたこと本当に良かったと思っています ・生活の一部になっているデイ、いつも感謝しています ・なくてはならない存在です。いつもありがとうございます	引き続き、尽力して参ります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		COCOきらめき	公表日				2025年 1月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		室内においては段差はほとんどなく足をぶつけたりなどの予防はできていると感じている。肢体不自由の利用者様も居られないため、階段などは配慮しておらず、そのままになっている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、相談室を活用して個別支援に充てている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		月に一度、会議を定期開催している。 又、児童の状況変化に応じて都度、開催している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		外出イベントや室内イベント（調理・工作活動等）、プログラムが固定化されないように実施している。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		事例がないことが弱みでもある。移行があった際にはこまめに情報共有をしたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	地域の公園に出向き、交流はしている。	園等との交流はできていないので、今後の課題である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	保護者参加型イベントを開催している。	お楽しみイベント以外でも、学習会等の学びのある会を実施していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	区民祭り等、中村区自立支援協議会に積極的に参加しているため、今後も継続していきたい。	地域住民を招待するまではまだ至っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬・アレルギーリスト、又マニュアルを作成している為、随時職員間で情報共有をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			